

ダイコン新品種

『改良夏元太』の特性と栽培ポイント

雪印種苗(株) 千葉研究農場

作物研究室 松井 誠 二

1 はじめに

昨年の作柄を振り返ってみますと、北海道、高冷地の猛暑による夏ダイコンの品質低下、それに引き続き一般地の厳しい残暑による夏秋ダイコンの品質低下が目立ちました。特に、赤芯、黒芯等の生理障害が問題となりましたが、品種の選択や圃場条件によりうまく回避できた例もありました。

『改良夏元太』はこのような厳しい気象条件の年でも、生理障害と軟腐病に強い特長を持つ品種であることが改めて実証されました。また、本品種は青果出荷以外に加工出荷にも向く品種であり、今後は高冷地から一般地、暖地まで様々な利用方法が考えられます。

2 『改良夏元太』の特性

生理障害、軟腐病などに強い晩抽性の夏系品種。

①根が非常に良くそろう。

従来販売していた夏元太より根のそろい性がさらに優れ、また、異形株の発生も少なくなった改良品種です。

②草勢

つやがある濃緑葉でウイルスには強いほうです。葉はおとなしめですが、葉軸がしっかりしています。

③耐病性

高温、多雨、多肥条件で多発する軟腐病に非常に強く、収量性が高いです。夏の時期でも500cs/10aの出荷が可能となります。萎黄病にも強く、ある程度の汚染圃場でも栽培できます。

④生理障害に強い

微量要素（ホウ素）欠乏で高温期に発生しやすい



写真1 肌がきれいでポリウムがある

い赤芯、黒芯は高冷地を主体とする春ダイコン、夏ダイコン、秋ダイコンともに問題になりやすいですが、本品種は従来の夏系品種の中でもかなり強いほうで、安心して栽培ができます。

ただし、生育日数がかかり過ぎる場合には稀に発生することがあるため、土作りには十分留意して下さい。

⑤晩抽性

夏～秋系品種の中では晩抽性のほうで、高冷地では春ダイコンの後に播くことができ、夏秋ダイコンまでのつなぎにすることができます。

⑥根の生育、大きさ

生育は若干遅いほうで、58～63日で収穫に達します。根長35～40cm、根径7.0～7.5cm、根重1.3～2.0kgで、大きくして加工用としても出荷できます。根形は尻つまりが良い円筒形で、ポリュ



写真2 窒素は控えめのほうが、きれいにそろそろム感がある総太り型にそろいます。

ーム感がある総太り型にそろいます。

⑦根の品質

首色は高温期では極淡く白首に近くなり、低温期では淡めの青首となります。す入りは極遅く、肉質はやや硬めなので、大きいサイズのツマ加工用にも向きます。

3 適作型と栽培のポイント

(●---●：播種期 —：生育期 ■■■■：収穫期)

1) 北海道

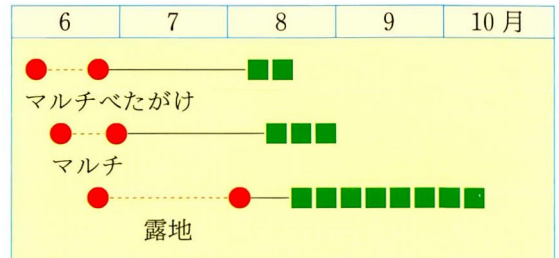
地域	6	7	8	9月
道南 道央	●---● マルチ	—	■■■■	
	●---● 露地	—	■■■■	
道東北		●---● マルチ	—	■■■■

- ① 6月播きはマルチ栽培中心となりますが、多肥栽培や収穫時の高温条件下では根形の乱れが発生することがありますので、施肥量は控えめとし、マルチ切り処理を行ってください。
- ② 7月播きは露地・シルバーマルチ栽培が適しています。
- ③ 8月播きは根長が30cm程度と短くなります。播種終期は7月末とします。

表1 『改良夏元太』の生育特性

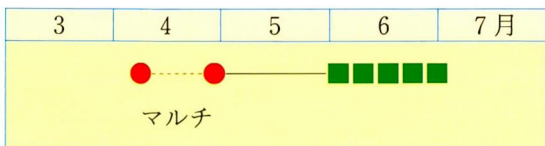
品種名	根長	根径	根重	根形	そろい	尻詰り	青首	肌	抽苔
〈平成11年4月22日播種, 6月24日調査, 千葉研究農場〉 %									
改良夏元太	43.0	7.3	1.67	7.0	7.0	7.0	3.5	7.0	0
他社K	40.8	7.5	1.52	6.5	6.5	6.5	6.5	7.0	67.9
〈平成11年6月10日播種, 8月3日調査, 北海道研究農場〉									
改良夏元太	35.4	7.1	1.34	4	6	4	2	6	0
他社K				3	7	3	4	6.5	28
〈平成11年8月25日播種, 10月25日調査, 千葉研究農場〉									
改良夏元太	40.0	7.4	1.71	7	7	7.5	3	7	0
他社K	37.9	7.3	1.59	7	7	7	4.5	7	0

2) 東北・高冷地

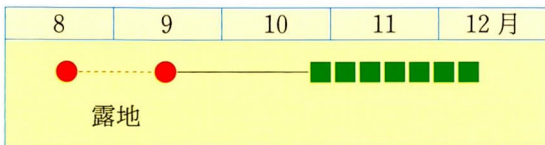


- ① 無理な早播きは抽苔の恐れがあるため、マルチ（透明～黒マルチ）が温まってから播種し、べたがけを有効利用するとよいです。
- ② 高温、干ばつ条件ではこぶ症などの品質低下が見られることがありますので、降雨を待つか、散水してから播種します。また、マルチ栽培より露地栽培のほうが地温が上がりにくく、降雨により水分も土に浸み込みやすいので、ダイコンの品質が低下しにくくなります。従って、抽苔の心配がなくなる時期になったら露地栽培に切り替えたほうがよいです。
- ③ 高温期は肥料が多いと曲がったり根形の乱れ(ねじれ, 扁平, 尻太)になりやすいので窒素肥料を控え、圃場もなるべく標高の高い所を選定し、深耕を行ってください。
- ④ 窒素肥料は目安として、早播きのマルチでは4～5 kg/10a, 高温期栽培の6月下旬～7月中旬播きでは1～2 kg/10aと少なめ、8月上旬播種では肥大が鈍くなるので、追肥を含めて7～8 kg/10aのやや多めとして下さい。
- ⑤ 殺虫剤, 殺菌剤の散布は品質を向上させるために重要で(アブラムシ, 首汚れ, 横縞症対策), 特に露地栽培では、発芽そろい以降, 株元に希釈倍率をうすくして定期的に散布して下さい。

3) 一般地, 暖地



- ①青果出荷以外に加工出荷用としての栽培に最も向きます。
- ②無理な早播きは抽苔の心配があるので、べたがけを有効利用するとよいです。
- ③遅播きは地温が上がりにくいシルバーマルチ、または露地栽培に切り替えて下さい。
- ④生理障害には強いほうですが、栽培条件によっては、微量要素複合肥料 (FTE など) を施用して下さい。
- ⑤窒素肥料は3～6 kg 目安で、播種が遅れるに依り減肥して下さい。



- ①早播きは乾燥しやすいので、降雨を待つか、散水してから播種して下さい。また、圃場は十分深耕したほうがよいです。
- ②窒素肥料は早播きのシルバーマルチで2 kg/10 a 位の少なめとし、遅まきは生育日数がかかるため追肥を含め7～8 kg/10 a とやや多めにして



写真3 軟腐病に強く歩留まりが良い

- ③無理な遅播きや密植栽培は短根や不揃いの原因になるので、控えて下さい。
- ④暖地での多雨、台風時期には生育期の葉病害対策として殺菌剤散布を行って下さい。

4 むすび

『改良夏元太』は従来の青果だけを意識した品種ではなく、加工適性を兼ねた品種であり、今後、色々な場面での作付けが期待されます。一度、ぜひ試してみてください。

夏播きソルガム



耐倒伏性に優れ、高糖分

高糖分ソルゴー (中生)

- 早期に糖分が高くなり、牛の嗜好性が良好。
- ハイブリッドより耐倒伏性に優れる。
- 高糖分だから、サイレージ、青刈り利用に最適。

夏播き1回刈り多収ソルガム

ビッグシュガーソルゴー (晩生)

小型、青刈り専用ソルガム

三尺ソルゴー (早生)